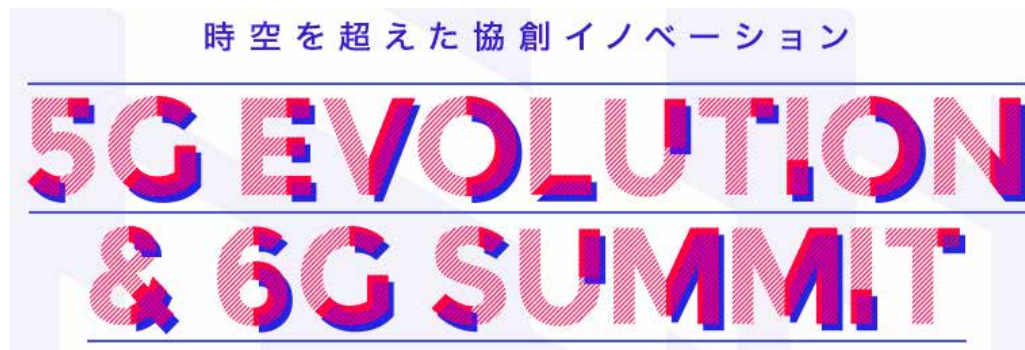


ドコモ、「5G evolution & 6G Summit」を開催 ～さらに高度化する5Gと未来の6G技術をwebで公開～

株式会社NTTドコモ(以下、ドコモ)は、5Gのさらなる高度化と第6世代移動通信システム(以下、6G)の研究開発促進を目的に、「5G evolution & 6G Summit」(以下、本サミット)をweb(特設サイト)で2020年7月29日(水)～30日(木)および8月27日(木)～28日(金)に開催します。これに先立ち、2020年1月22日(水)に発表した6Gホワイトペーパーを、6Gの実現に向けて検討すべき技術領域をより具体的に示すために更新し、2.0版として本日公開しました。

2020年3月より商用サービスを開始した5Gでは、さまざまな分野で5Gを活用したサービスの創出や社会課題の解決が期待されており、各分野によって異なる幅広い要求条件に柔軟に対応するため5Gのさらなる高度化が求められています。また、2030年頃のサービス提供開始をめざす6Gについて国内外で議論が始まっており、さらなる高速・大容量通信、カバレッジ拡張、低消費電力・低コスト、低遅延、高信頼、多接続・センシングと、6Gならではの新たなユースケース創出に向けた検討が進められています。

本サミットでは5G・6Gに関する研究開発をグローバルに促進するため、ドコモの検討状況を公開するとともに、無線技術や今後の5G・6Gのユースケースに詳しい外部有識者を招き、パネルディスカッションや展示を実施します。6Gホワイトペーパーの更新内容も本サミットで説明します。



■開催概要

イベント名称	5G evolution & 6G Summit
会期	第一弾 2020年7月29日(水)～2020年7月30日(木) 9時00分～17時30分
	第二弾 2020年8月27日(木)～2020年8月28日(金) 開催時間は後日イベントサイトにてご案内いたします。
イベントサイト	http://5ge-and-6g-summit.com/
参加費	無料 ^{※1} (事前の登録は不要です)
スケジュール	第一弾については別紙1を参照ください 第二弾については後日イベントサイトにてご案内いたします。
主催	NTTドコモ

本サミットは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、web(特設サイト)で開催します。第一弾では、本日公開した 6G ホワイトペーパーの更新内容に関する講演と、6G 時代を見据えたユースケースである「人間拡張／VR」、「ブレインテクノロジー」、「地方創生」、「無線・ネットワーク技術」、「宇宙」の各テーマにおいてパネルセッションを実施します。また、第二弾は 8 月末に同様に web(特設サイト)で、動画や操作可能な web コンテンツなどをご覧いただける約 40 件の展示を準備しています。第二弾のスケジュールや詳細はイベントサイトにて告知します。

6G ホワイトペーパーについては、新型コロナウイルスの感染拡大により大きな変化をむかえている昨今の社会状況を踏まえて、6G が導入される 2030 年代の社会や世界観について今一度考察し、内容を更新しています。具体的には、未来において、地方創生、少子高齢化、労働力不足などの社会課題を見つめ直し、新たにその解決法を示すとともに、ヒトやモノ、コトの通信について新たな提言を行っています。(更新内容詳細は別紙2を参照ください)

6G ホワイトペーパー(2.0 版): <http://5ge-and-6g-summit.com/pdf/6gwhitepaper2.pdf>

ドコモは本サミットの開催や 6G ホワイトペーパーの更新を通して、さまざまなパートナーと連携し、より活発に議論を進め、さらなる移動通信の進化に向け、研究開発を推進してまいります。

※1 システム上、参加者数に制限がございます。

本件に関する報道機関のお問い合わせ先
NTTドコモ ネットワークイノベーション研究所 TEL:046-840-3470 FAX:046-840-3796

5G evolution & 6G Summit 第一弾 講演／パネルセッションスケジュール

実施日	時間	内容/登壇者
7/29(水)	13:30 - 14:00	ご挨拶 株式会社 NTTドコモ 執行役員 中村 武宏
	14:15 - 14:55	講演 『5G evolution & 6G 進化の方向性』 株式会社 NTTドコモ ネットワークイノベーション研究所 永田 聡
	15:10 - 15:50	講演 『5G evolution & 6G 要求条件とユースケース』 株式会社 NTTドコモ ネットワークイノベーション研究所 岸山 祥久
	16:05 - 17:10	講演 『5G evolution & 6G 技術発展と検討領域』 株式会社 NTTドコモ ネットワークイノベーション研究所 岸山 祥久 株式会社 NTTドコモ ネットワークイノベーション研究所 須山 聡 株式会社 NTTドコモ ネットワーク開発部 澤田 政宏
7/30(木)	9:00 - 9:20	講演 『5G のさらなる高度化と 6G に向けたドコモ R&D』 株式会社 NTTドコモ 常務執行役員 谷 直樹
	9:30 - 10:45	パネルセッション 『人間拡張/VR』 パナソニック株式会社 ロボティクス推進室 総括 安藤 健 様 東京大学先端科学技術研究センター教授・総長補佐 博士(工学) 稲見 昌彦 様 株式会社 gumi 取締役会長 國光 宏尚 様 Enhance Experience Inc. CEO 水口 哲也 様
	11:00 - 12:15	パネルセッション 『ブレインテクノロジー』 H2L 株式会社 代表取締役 岩崎 健一郎 様 株式会社国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所 主任研究員 小川 剛史 様 産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門 上級主任研究員 長谷川 良平 様 株式会社 neumo 代表取締役 若林 龍成 様
	13:00 - 14:15	パネルセッション 『地方創生』 株式会社 New Stories 代表取締役 太田 直樹 様 NPO 法人ミラツク 代表理事 国立研究開発法人理化学研究所 未来戦略室 イノベーションデザイナー 西村 勇哉 様 僧侶・未来の住職塾塾長 松本 紹圭 様
	14:30 - 15:45	パネルセッション 『無線・NW 技術』 NEC ネットワークサービスビジネスユニット ワイヤレスアクセスソリューション事業部 事業部長代理 大神 正史 様 NTT アクセスサービスシステム研究所 無線エントランスプロジェクト プロジェクトマネージャー 鬼沢 武 様

		富士通株式会社 未来ネットワーク統括部 先行技術開発室 シニアマネージャー 伊達木 隆 様
	16:00 - 17:15	パネルセッション 『宇宙』 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 新事業促進部長 岩本 裕之 様 一般社団法人 SPACETIDE 共同創業者兼理事、一般社団法人 Space Port Japan 共同創業者兼理事 青木 英剛 様 スカパーJSAT株式会社 宇宙事業部門 宇宙技術本部 通信システム技術部長 中里 真一 様 株式会社アクセルスペース 代表取締役 CEO 中村 友哉 様

※各登壇者の情報は <http://5ge-and-6g-summit.com/pdf/day1day2schedule.pdf> にて公開。

報道発表資料に記載された情報は、発表日現在のものです。内容は予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

6G ホワイトペーパーの更新内容

6G ホワイトペーパー(2.0 版)では、5G evolution および 2030 年代の社会や世界観を想定した 6G に向けた移動通信技術の進化の方向性を考察し、要求条件やユースケース、技術的な検討領域についてのコンセプトや主な技術課題について記載しています。

2020 年 1 月に発表した 6G ホワイトペーパー(1.0 版)に対して、2.0 版では、2 章の『進化の方向性「5G evolution and 6G」』と、4 章の『技術発展と検討領域』を中心に内容の追記および更新を実施しています。

2 章においては、新型コロナウイルスの感染拡大により大きな変化を迎えている昨今の社会状況を踏まえて、6G が導入される 2030 年代の社会や世界観について今一度考察しています。未来において、地方創生、少子高齢化、労働力不足などの社会課題を見つめ直し、その解決法を示しています。また、ヒトや能力、モノやコトがつながる今後のコミュニケーションにおいて、能力のつながりは、人の能力や存在を拡張する人間拡張の分野や、脳をネットワークに接続する脳関連通信と捉えられ、感覚のつながりは、人の五感や、さらには雰囲気を含めた場所やモノから感じる感覚などを含めた多感通信として考え、ヒトやモノ、コトの通信について新たな考察を行っています。

4 章においては、6G の実現に向けて検討すべき技術領域や技術課題を改めて整理しています。6G の超高速大容量化と信頼性向上に寄与する空間領域の分散ネットワーク高度化技術について、反射強度や指向性を動的制御可能な反射板技術の最新動向を紹介しています。加えて、空から 6G が実現するカバレッジ拡張技術として、非陸上通信における高高度擬似衛星(HAPS)のソリューション例や、静止衛星、低軌道衛星との棲み分けについて追記しています。

また、テラヘルツ波などの新たな高周波数帯開拓に向けた電波伝搬特性の明確化、伝搬モデルの構築の必要性や、高周波数帯デバイス技術における課題を新たに示すとともに、ミリ波帯よりも低い既存周波数帯における 6G によるシステム性能改善の必要性についても紹介しています。さらに、システムの高度化・多機能化に向けた無線伝送技術や AI 技術の最新動向を追記するとともに、ネットワーク・アーキテクチャに関する記述を新たに加えて、ネットワーク・アーキテクチャの見直しのための留意すべき課題や社会的要求、今後検討すべきネットワーク・アーキテクチャの方向性について触れています。